

長岡亮介先生のオンライン LIVE 配信講演会

主題：「何のために学ぶのか？学びとはどうあるべきか？」

—“今”だからこそ考えるべきこと—

新型コロナウイルスの影響による休校が続き、オンラインでの授業展開が徐々に浸透していく一方で、これまでの「学校の在り方」や「授業の在り方」、もっといえば「学びの在り方」が問われています。本来であれば、普段から「学ぶ」という行為をしている中高生の皆さん、そして、我々教員は、「何のために学ぶのか？学びとはどうあるべきか？」という問題に常に向き合っていなければならないわけですが、忙しい学校生活を送る中で、あるいはその忙しさを理由に、いつの間にかそのことを忘れ去っているように思います。

休校が続き、学校で友人や先生と顔をあわせられないのはとても残念ですが、十分に思索する時間が確保された“今”だからこそ、「学び」について問に改めて向き合ってみませんか。

こんな難しいテーマの講演を快く引き受けてくださったのは、茗溪でも一部の生徒の皆さんにとってはオンライン授業で、一部の保護者の方にとっては予備校やラジオ講座で馴染みのある長岡亮介先生です。本番では、講演とは別に、生徒や保護者の皆さん、教員からの質問をチャット形式で受け付けて、リアルタイムで長岡先生に答えていただくというチャレンジングな試みも企画しています。「日時・参加方法・長岡亮介先生のご紹介」については下記の通りですので、ご興味のある方は、ご友人ご家族をお誘いの上、奮ってご参加ください。

また、長岡先生が講演本番に向けてのプレ講義として「①勉強/学問とは何のためにするのか？」「②数学についての誤解」という二つのテーマでビデオレターを作成していただきました。この二つを1本にまとめた動画を事前配信します。下記の URL あるいは QR コードから視聴できるようになっています。

プレ講義にも関わらず、長大作のため

「すべて完璧に理解しよう！」と気負わずに、
気軽にご覧ください。

「長岡先生ってどんな方で？どんな話をしてくださるのか？」
ということを少しでも知っていただければ幸いです。



<https://youtu.be/s0nV1aPROc8>

日時：2020年5月27日（水）16時00分～

配信方法：Microsoft Teams ライブイベントで配信

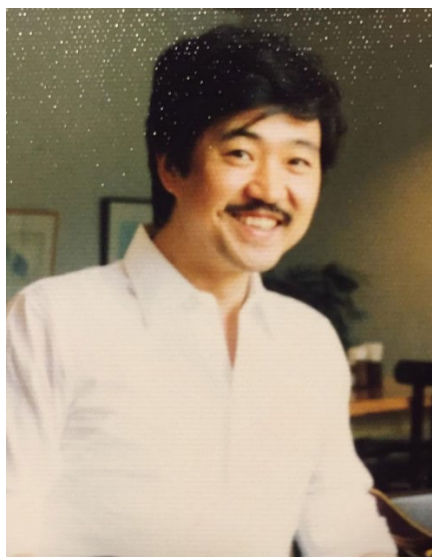
主催：茗溪学園

協賛：NPO 法人 TECUM

—講師紹介—

長岡亮介（ながおかりょうすけ）

NPO法人 TECUM 理事長



長岡先生は長野県生まれ横浜育ち。聖光学院中学高校で学び、東京大学理学部を経て、東京大学理学系大学院博士課程を修了。数学史・数理哲学を専攻。その後、津田塾大学助教授、大東文化大学教授、放送大学教授、明治大学特任教授を経て、現在は明治大学時代の教え子とその仲間（谷田部、新妻、磯山も含まれる）とともに、日本の数学教育を根本から作り直すために「NPO 法人 TECUM」を立ち上げて、意欲ある数学教育者の支援活動に力をそそがれている。大学院時代から約 10 年間、駿台予備学校にて教鞭を執り、“カリスマ講師”として多くの若者に慕われ、NHK ラジオ講座の講師としても活躍されていた。

70 歳を超えられた今、加齢黄斑変性を患い視力が衰えつつありますが、「本当に大切なものは目ではみえない」というご自身の信条を貫かれ、「心の目の視力」は一切落とすことなく、大好きなお酒も控え、「人生の余白」を次世代の若者と数学教育のため捧げてくださっております。また、長岡先生がよく用いられる言葉の一つに「少年老い易く学成り難し」があります。

